

糸島市イベント情報【平成30年1月】

| 日程 | 行事名 | 内容など |
|--------------------|------------------|---|
| 1月1日（月・祝） 0:15～ | 福井夜神楽 | <p>【会場】 白山神社（二丈福井 4909）</p> <p>【内容】 年が明けてすぐの深夜0時過ぎから、五穀豊穰、家内安全、無病息災などを祈願して福井夜神楽が奉納されます。力強い舞や滑稽な動作で踊る舞などが、初詣に訪れた人々を楽しませてくれます。</p> <p>糸島市無形民俗文化財に指定されている伝統芸能で、地域住民が一丸となって「福井神楽保存会」を結成し、現在まで伝承されています。</p> <p>【問い合わせ】（一社）糸島市観光協会（322）2098</p> |
| 1月7日（日） 14:00～ | 老松神社 追儺祭（鬼すべ） | <p>【会場】 老松神社（前原中央 1-4-14）</p> <p>【内容】 毎年1月7日に老松神社で行われる厄払いの神事です。厄年を迎える男が扮する大鬼を先頭に、小鬼に扮した氏子たちが「鬼じゃ、鬼じゃ」と掛け声を上げながら、雷山川下流（泉川）まで「お潮井取り」に向います。</p> <p>その後、町内を練り歩き、夕方、老松神社へ。鬼すべ堂に追い込んだ大鬼を、小鬼たちが煙でいぶり出し、罪やけがれを追い払います。</p> <p>境内では「うそ替え」も行われ、年初めの幸運をつかもうと多くの方が訪れます。</p> <p>【問い合わせ】（一社）糸島市観光協会（322）2098</p> |
| 1月10日（水） 20:00～ | 桜井神社 餅押し | <p>【会場】 桜井神社（志摩桜井 4227）</p> <p>【内容】 厄よけと招福を願う江戸時代から続く祭りです。その年に厄年を迎えた男たちが、厄に見立てた鏡餅を広場に投げ入れ、締め込み姿の若者たちが餅が割れるまで奪い合います。餅が割れると厄が退散するといわれており、その餅を手にした男性は、幸福な一年を過ごせるともいわれています。</p> <p>また、この日は11時から初春祭が行われ、恵比寿福引を行います。</p> <p>【問い合わせ】 桜井神社（327）0317</p> |

| 日程 | 行事名 | 内容など |
|---|-----------------------------------|--|
| 1月16日(火) ~ 28日(日) 9:00~17:00 (入館 ~16:30) ※月曜日休館 | 伊都郷土美術館冬季企画展 松永冠山素描展 | <p>【会場】 伊都郷土美術館</p> <p>【内容】 糸島市出身の日本画家・松永冠山は、京都で日本画を学び、文展(文部省美術展覧会)入選を皮切りに数多くの官展で入賞。日展委員をはじめ、福岡県美術協会常任理事や初代糸島美術協会会長を務め、福岡県の日本画壇の主導者として活躍しました。企画展では、季節の移ろいや天候の変化を柔らかく表現する「冠山様式」の代表作や未公開の素描、スケッチブックなどを公開します。</p> <p>【料金】 無料</p> <p>【問い合わせ】 糸島市文化課(332) 2093</p> |
| 1月28日(日) | 糸島市無形民俗文化財 淀川の百々手祭り (大飯食らい) | <p>【会場】 淀川天神社(二丈深江)</p> <p>【内容】 百々手祭りは、毎年1月の第4日曜日に、二丈深江の淀川天神社で行われる五穀豊穡・厄払いの祈願祭です。神社での祭典が終わると、氏子たちが手製の弓矢で凶事に見立てた的を射抜きます。その後、愉快的な「大飯食らい」が始まります。</p> <p>まず、高膳に白米と一汁三菜が運ばれます。1杯目のご飯は普通の量ですが、2杯目からは山盛りに。参加者たちは、おわんを隠してふたをしようとしませんが、次々とご飯がよそわれます。その掛け合いに場内は笑いに包まれます。</p> <p>このユニークな祭りは、「今年もたくさんご飯が食べられますように」という祈りが込められています。</p> <p>【問い合わせ】 (一社) 糸島市観光協会(322) 2098</p> |